

タイトル：SDGs未来都市姫路

本文；

今回、この作文を取り組むにあたり、初めてSDGsという言葉を知りました。SDGsとは国際連合の持続可能な開発のための国際目標であり、17のグローバル目標と169のターゲットから成るものです。街を歩いているとバスにもSDGsのロゴを描いたバスが走っていたり、駅前にはSDGsのロゴを胸につけた人を何人も見ました。私は全然知らなかったけど、SDGsが社会には浸透しているということが分かりました。調査のために、ロゴのバッジをつけた人に声をかけ、会社でSDGsについてどのような取り組みをしているのか聞いてみました。しかし、声をかけた3名の方は会社からバッジを配布されただけで、実はよく分かっていないようでした。

私はSDGsをより勉強するために、夏休みを利用して2030SDGsカードゲームに参加しました。カードゲームでSDGsを分かりやすく体験的に理解することができました。ゲームは前半戦と後半戦を行いましたが、前半戦は自分のゴールのことばかり考えていましたが、後半戦は世界の状況メーターを確認しながら、みんなでどのようにしていけばいいか話し合いながら進めることができました。このゲームの良いところは、世界の状況メーターが可視化されていることです。実際の世界も今どのような状況なのか、可視化することができれば、一人一人が地域のことを意識して、目標に向かって行動に移していくと思います。例えば、私はのどが渴いたら、ペットボトルの水をよく買いますが、ペットボトルは石油からできています。海の豊かさを守ろうなどが達成できていないということが可視的に分かれば、ペットボトルを買わずに、水筒にお茶を入れて学校に行っていたと思います。このようなことは小さなことですが、環境にも私のお財布にも優しいはずで、SDGsの17の目標は誰が読んでもそのような社会に向かっていかないといけないと思えるような内容ですし、毎年各国の達成状況が可視化されています。このような共通の目標に向かって社会全体が進んでいくと、素晴らしい社会になっていくと思います。

そのためには、市民のSDGsの認知度を上げていかなければなりません。私が最初に調べたように、SDGsに多くの企業では取り組もうとしていると思いますが、一人一人がSDGsを意識して行動することには至っていないと思います。先日、明石市が兵庫県内初のSDGs未来都市に選定されました。虐待予防や母子の健康チェックを目的に、0歳児におむつを無償配布する事業などがSDGsを達成する具体的な事業提案として評価され選出されました。SDGs未来都市へ姫路市が選出されることによって、姫路市民のSDGsの認知度もあがり、実際にSDGsの目標に向けて市民が行動していくのではないかと考えます。例えば、姫路市は多くの歴史や文化があり、多くの外国人観光客が訪れます。私たち学生はこれから社会に出ていくために英語を話せるようになりたいと思い、留学などしている友達もいます。しかし、留学には親の負担がかかるため、誰もが留学して生きた英語を勉強することができません。姫路には多くの外国人観光客が訪れるので、学生による外国人観光客のボランティアガイドなどをできるようにするのではないかと思います。現在の姫路市が募集している姫路城ボランティア外国語ガイド募集は英検準一級程度の能力が必要で、学生にとっては一部の人しか応募できません。これによって、SDGsのすべての人に包括的かつ公平で質の高い教育を提供することができます。私達学生にとっても、英語を上達するだけでなく、姫路のことを良く知る機会となります。

これは一例ではありますが、このようにSDGsの達成のための政策を実施することにより、姫路市がSDGs未来都市に認定され、より市民がSDGsに取り組むことによって、素晴らしい姫路市になると思います。